

はあなたがたの慰めと救いになり、あなたがたがわたしたちの苦しみと同じ苦しみに耐えることができますのです。

【奨励者からのメッセージ】

医学博士号を持つ漫画家手塚治虫氏の作品には多くの名作があります。本学では『ブラックジャック』のファンが多いようです。今回とりあげるのは『きりひと讃歌』という作品です。手塚ファンで全作品を制覇しようと試みるような人は別でしょうが、一般には知られていない作品です。『ブラックジャック』と同じように医師が主人公ですが、大人向けということもあってか暗さが前面に出ています。

もちろんテレビドラマの『ドクターX』シリーズや『ブラックジャック』のように、天才外科医が不可能と思われた症例を神業で治してしまう、というストーリーは爽快です。でも現実の世界には、常に苦難が存在します。仏教では「生病老死」に代表されるように、苦の認識が徹底的です。キリスト教も他の宗教も、現実に存在する苦難についてどう理解するかどう対処するかに関する教えを持っています。

とくに不条理な苦難への対処は問題をはらんでいます。犯罪被害者あるいは犯罪被害者遺族の苦しみは、複雑なものです。当然生じる加害者への復讐心との戦いもあるからです。不条理そのものへの怒りもあるでしょう。『きりひと讃歌』の主要なテーマは、この点にあると思われます。他の作品と同様、手塚作品の多くが何度もいろいろな形で出版されていますが、『きりひと讃歌』（最初の版）の表紙は非常に意味深く感じられます。第1巻の主人公の絵は落ち込んでいます。第2巻ではさらにうなだれています。第3巻では光を見つけたように見え、第4巻では十字架を背負って歩きだしています。キリスト教において「自分の十字架を負う」という言い方は、自分の重荷・苦難を引き受けて生きることを意味しています。

【聖歌隊と一緒に歌いましょう】

後学期にはクリスマス・コンサートに向けてハレルヤ・コーラスの練習もはじまります。毎週礼拝前後にオルガン前で練習しています。

【次回の大学礼拝】2018年10月2日（火）10時40分

クリスチャン声楽家吉村美穂さんによるコンサート形式の礼拝です。

【前回の大学礼拝】

学生 189名 教職員ほか 9名 合計 198名

【大学礼拝週報】2018年度 第16号（後学期第1号）

2018年9月25日（火）午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《大学礼拝》

司 式 高橋優子（キリスト教学教員）
奏 楽 佐藤理恵（野幌教会会員）
讃美指導 相原晴伴（循環農学類教員）

前 奏 「神をほめまつらん、祝しまつらん」（J.C. バッハ作曲）

讃美歌 讃美歌 354 番（牧主わが主よ）

聖 書 コリントの信徒への手紙一 10 章 13 節

コリントの信徒への手紙二 1 章 4-6 節

祈 り

さん び

酪農学園大学聖歌隊

奨 励

「『きりひと讃歌』にみる苦難あるいは復讐心の超克」

高橋優子（獣医学類獣医倫理学研究室准教授）

報 告

讃美歌

讃美歌 312 番（いつくしみ深き）

後 奏

「われに来たれ、と神のみ子は語りたもう」

（カムマイヤー作曲）

【本日の聖書】

コリントの信徒への手紙一 10 章 13 節

あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずです。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。

コリントの信徒への手紙二 1 章 4-6 節

⁴神は、あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださるので、わたしたちも神からいただくこの慰めによって、あらゆる苦難の中にある人々を慰めることができます。⁵キリストの苦しみが満ちあふれてわたしたちにも及んでいるのと同じように、わたしたちの受ける慰めもキリストによって満ちあふれているからです。⁶わたしたちが悩み苦しむとき、それはあなたがたの慰めと救いになります。また、わたしたちが慰められるとき、それ